

|        |                                    |                                       |      |    |                  |         |           |
|--------|------------------------------------|---------------------------------------|------|----|------------------|---------|-----------|
| 施策     | 28                                 | 学習交流活動の推進                             | 政策   | 2  | 地育力によるこころ豊かな人づくり |         |           |
| 施策主管課  | 公民館                                | 課長名                                   | 木下巨一 | 内線 | 4210             | 政策担当部長名 | 教育次長 三浦伸一 |
| 施策関係課名 | 生涯学習・スポーツ課、歴史研究所、中央図書館、美術博物館、学校教育課 |                                       |      |    |                  |         |           |
| 重点施策   | 関連計画                               | 飯田市教育振興基本計画、地育力向上連携システム推進計画、図書館サービス計画 |      |    |                  |         |           |

**1 施策の目的**

|    |    |  |
|----|----|--|
| 目的 | 対象 | 市民   |
|    | 意図 | 学びの機会が得られる<br>多様なネットワークが広がる<br>社会活動に主体的に参画する |

**2 現状把握**

(1) 対象指標、成果指標の状況

| 対象指標   | 単位 | 21年度    | 22年度    | 23年度    | 24年度    | 25年度    | 26年度    | 見込み<br>28年度 |
|--|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------------|
| 住民人口   | 人  | 105,691 | 105,335 | 104,728 | 103,947 | 103,105 | 102,446 | 102,000     |
| 成果指標<br><small>成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理</small> | 単位 | 21年度    | 22年度    | 23年度    | 24年度    | 25年度    | 26年度    | 目標<br>28年度  |
| 学習活動を行っている市民の割合                                | %  | 36.6    | 34.6    | 34.4    | 34.9    | 37.3    | 36.0    | 40.0        |
| 家族や職場以外で交流がある市民の割合                             | %  | 42.2    | 43.5    | 38.7    | 41.6    | 43.3    | 40.2    | 50.0        |
| 社会活動に参画する市民の割合                                 | %  | 60.3    | 60.9    | 61.6    | 59.7    | 59.0    | 58.3    | 65.0        |

(2) 成果向上に向けての役割分担

| 主体  | 役割分担                                 | ムトス指標と把握方法と単位                                   | 23年度<br>実績   | 24年度                                | 25年度           | 26年度  | 目標<br>28年度 |
|-----|--------------------------------------|---|--|-------------------------------------|----------------|-------|------------|
| 行政  | 多様な生涯学習活動の支援<br>社会教育の推進<br>社会教育施設の整備 | 公的な主催事業の事業数<br>(公民館、美博、図書館、歴研、生涯学習・スポーツ課、介護高齢課) | 2,277  | 2,664                               | 2,919<br>4,870 | 2,804 | 1,800      |
|     |                                      | 共催、後援の事業数(市民主体の活動支援)                            | 163  | 194                                 | 219            | 247   | 200        |
| 主体  | 役割分担                                 | ムトス指標と把握方法と単位                                   | 役割発揮の特記事項  |                                     |                |       |            |
| 市民等 | 個人、各種団体                              | 学習活動や社会活動に参加する。                                 | グループ、ボランティア活動及び地域行事に参加している人の割合<br>学習活動に取り組む市民の割合<br>地域行事に参加する市民の割合 | 共催、後援の事業数の増加は、市民が主体となった学習活動の増によるもの。 |                |       |            |
|     | 各種団体                                 | 多様な地域活動と社会活動の場づくりと参加を促す。                        |  |                                     |                |       |            |

**3 平成26年度の評価結果**

(1) 実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)

|             |
|-------------|
| 計画どおり取り組めた  |
| おおむね計画どおり   |
| あまり取り組みなかった |
| 達成できなかった    |

(2) 施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)

|           |
|-----------|
| 進んだ       |
| ある程度進んだ   |
| あまり進まなかった |
| 進まなかった    |

## 4 平成26年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

### 【施策全体の評価】

・この施策は、公民館と図書館にとっての中心的な施策である。  
・学習活動を行っている市民の割合、家族や職場以外で交流がある市民の割合、社会活動に参加する市民の割合など平成21年度以降ほぼ横ばいの数字である。  
・他地域と比較するデータはないが、24施策「家庭教育の充実」でも紹介した、平成26年度「全国学力・学習状況調査」の中で、児童生徒の地域への関わりについての設問では、地域行事へ参加する生徒の割合は小学生が91.8%(全国平均68%)、中学生が66.5%(全国平均43.4%)とこの地域の子もたちは全国と比べて圧倒的に参加率が大きい、この背景には公民館などを拠点とした地域の活動が他地域に比べて充実していることが結果の背景にあるとらえており、子どもに限らず地域における学習や交流の機会は、他地域と比べても大変充実しているとらえている。

### 【事務事業群テーマ別の評価】

#### 社会教育機関同士の連携・協働

・61施策「地域資源の発見・資産化」の取組みであるが、「伊那谷の自然と文化」をテーマとした取組を教育委員会の各機関が統合的に取組むために、博物館の学芸員、歴史研究所の研究員、図書館の司書、生涯学習・スポーツ課や公民館の社会教育主事などの専門的な資格を持った職員が連携し、連携・協働の取組みを模索している。特に共通テーマとして「菱田春草の顕彰」「交通と文化」「飯田・上飯田の歴史と文化」「小さな世界都市」を掲げ、これらに関する研究や取組を担う人材育成を視野に入れた連続講座も開催した。

#### 学習・交流施設の整備・維持管理

・千代公民館、上久堅公民館、下久堅公民館、丸山公民館の耐震診断に基づく改築改修が終了し、地域の学習交流拠点としての利活用が始まった。  
・公民館、勤労青少年ホームなどでは施設の巡回をし、雨漏り等緊急性のある事項は速やかに対応するとともに、その他の事項については年次計画を立て、計画的に改修等対応を進めた。  
・図書館では、定住自立圏構想に基づき新たに豊丘村がネットワークに参加し、4市町村のネットワークに32,844人が参加、4市町村の相互貸出冊数が26,708冊、インターネット予約件数が66,458件と広がりを見せた。

#### 学習交流機会の提供

・20の地区公民館では「地域の乳幼児親子学習交流事業」を734回開催し、16,985人、「地域の学齢期親子学習交流事業」を114回開催し、5,562人、「地域の平和・多文化学習交流推進事業」を114回開催し、2,677人、「地域の芸術文化学習交流支援事業」を144回開催し、3,946人、「地域の多様な学習交流事業」を402回開催し、11,688人、「郷土(地区)を学ぶ活動支援事業」を292回、8,103人、「地域の健康学習交流支援事業」を119回、2,714人、「地域の環境学習交流支援事業」を98回、4,902人の参加を得た。  
・市公民館では「人権平和学習」(文化庁委嘱事業:地域の中の日本語教室等)を74講座、715人、「学習交流事業」(市民大学講座、飯田ムトス大学等)を27講座、2,113人の参加を得た。  
・勤労青少年ホームでは、利用者会の活動支援や前期・後期の教養講座の開設などで青少年の交流機会を設けるとともに、課題を持った若者たちや家族を対象とした「わかものサポート:青春始発」の取組みを実施し、若者当事者の居場所づくり、家族の学習会、個別相談会に取組んだ。  
・図書館では年間818,392冊の図書の貸出サービスを実施した(中央:402,133冊、上郷・鼎259,434冊、分館156,825冊)、また読書推進講座・講演会を18回、朗読ボランティア養成講座を12回開催、「ビジネス支援サービス事業」の取組みとして社会・経済・産業関係部門の相談について1,500件対応した。  
・歴史研究所では公民館等と協働し、29回の出前講座を開設した。  
・生涯学習スポーツ課では、おもしろ科学工房(科学ボランティアグループ)の活動を支援し、理科実験ミュージアムを50回、実験教室・出前工房を56回行い19,735人の参加者に科学のおもしろさや不思議さを伝えた。

#### 学習交流活動の担い手育成

・29施策「ふるさと意識の醸成」施策であるが、市公民館では高校生等次世代育成を狙い、飯田OIDE長姫高校、松本大学、飯田市によるパートナーシップ協定に基づき、地域人教育に取組み、84講座に延べ733人の生徒が参加した。また、生まれ育った地域のことを生徒自身が主体的に学ぶことを目的とした高校生講座は、進学・就職と人生の大きな岐路に立つ高校生に対し「いったん飯田を離れてもいつかは戻ってこようという人材のサイクルに結び付ける事業として、「高校生講座カンボジアスタディツアー」を実施し15人の高校生たちが8講座+6日のスタディツアーに参加した。また5月には、前年度のスタディツアーに参加した14人の高校生たちによる報告会を実施した。た。  
・図書館では中・高・大学生等の職場実習を29件延べ117人参加、図書館利用体験を39件、1,292人参加、図書資料展、解説会を4回、775人参加を得たほか、児童やヤングコーナーにテーマ本を展示し若い世代への読書への関心を高める取組みを行い、児童書を297,769冊、ヤングコーナー図書を26,339冊貸出した。

## 5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

#### 社会教育機関同士の連携・協働

・引き続き社会教育機関や専門職員の交流を進めるとともに、伊那谷研究協議会に所属する市民研究団体等との連携を推進する。

#### 学習・交流施設の整備・維持管理

・勤労青少年ホームについては、4月より飯田体育協会との合同事務所としたが、隣接する総合グランドも含めた、体育館、会議室の管理の在り方についての検討を進める。  
・公民館施設については、施設の現状の把握を行い、年次計画を立て計画的な回収を進めるとともに、緊急性のある事案については、補正予算等も含めて速やかな対応を行う。

#### 学習交流機会の提供

・公民館では、より地域課題に向き合う事業となるよう、取組の見直しや職員の意識向上を図る。  
・勤労青少年ホームでは、課題を持った若者の取組みにより深く向き合うことのできるための体制作りを検討する。  
・図書館では、研究団体や利用団体と協働し、講座や講演会等を実施し広く市民に読書を通して学びの場を提供する。

#### 学習交流活動の担い手育成

・公民館では、高校生を対象とした取組を他校に広げるとともに、新成人世代と地域を結ぶ活動にも取り組みを広げる。  
・図書館では、養成講座や学習会等講座の開催を通じ担い手の育成に取組む。

## 6 平成26年度事務事業 施策系統図

# 目標 施策2-8

対象  
市民

意図  
学びの機会が得られる  
多様なネットワークが広がる  
社会活動に主体的に参画する

## 成果指標

学習活動を行っている  
市民の割合

家庭や職場以外で  
交流がある市民の割合

社会活動に参画する  
市民の割合

社会教育機関同士の連携・協働

学習・交流施設の整備・維持管理

学習交流機会の提供

学習交流活動の担い手育成

## 事務事業

社会教育運営事務

社会教育指導員設置事業

勤労青少年ホーム維持管理事業

公民館維持管理事業

公民館改修事業

南信濃学習交流センター維持管理事業

図書館コンピュータシステム運営事業

図書館維持管理事業

図書購入・整理提供事業

ビジネス支援サービス事業

図書館運営事業

地域の乳幼児親子学習交流支援事業

地域の学齢期親子学習交流支援事業

地域の人権平和・多文化学習交流推進事業

地域の芸術文化学習交流支援事業

地域の多様な学習交流推進事業

郷土(地区)を学ぶ活動支援事業

地域の健康学習交流支援事業

地域の環境学習交流支援事業

市民の学習交流支援事業

勤労青少年ホーム運営事業

よむとす事業

科学実験教室推進事業

美術博物館活動推進事業(新)